

2023 年度 飛騨古川 U-13 交流大会 飛騨古川フレッシュ審判員スクール研修会 報告書

茨城県サッカー協会
3級インストラクター 金 玄虎
3級審判員 宇野 航生



1. 日程

2023年5月3日（水）～2023年5月5日（金） 2泊3日

2. 大会名

飛騨古川 U-13 サッカー大会（愛知FC主催）

3. 場所

<実技>岐阜県飛騨古川ふれあい広場 他2会場

<講義>岐阜県飛騨古川文化交流センター

4. 参加者

審判員 8 名（茨城県 宇野航生）

インストラクター10 名（茨城県 金玄虎）

5. 研修会目的

若手審判員の発掘・育成

6. テーマ

「大会を成功させよう」

7. 実践研修

各会場にて1日2試合程度

8. 講義

*参加審判員によるオンライン事前講習（4/30開催）

【5月3日（水）】



- ①ご挨拶（小椋氏）
- ②インストラクター、審判員自己紹介
- ③テーマ「大会を成功させよう」について（加藤氏）
- ④事前研修のおさらい（加藤氏）： 直接FKとなる反則の7項目

【5月4日（木）】



- ①講義（加藤氏）： 対角線式審判法 ・映像分析
- ②ディスカッション（加藤氏、羽矢氏）： FK時の6つの手順について

9. 総括

【3級インストラクター 金 玄虎】（写真右から2人目）



今回愛知県サッカー協会の交流プログラムに参加させて頂きました。

当研修会は長年に渡り若手審判員の発掘及び育成の場として位置づけられており、過去の参加者からはJリーグ主審を務める方も誕生し、愛知県における上級審判員の登竜門になっています。

14歳から24歳の計8名の受講生全員が意欲的で、学んだことを次の試合で早速実践しようとする姿勢が非常に印象的でした。

また、参加されたインストラクターの皆様におかれましても、受講生たちに対し答えではなくヒントを提供し、そのヒントを頼りに審判員自身が競技規則と照らし合わせて理解を深められるよう指導されている姿は大変勉強になりました。

実践的な学びはもちろんですが、私が特に感銘を受けたことは、指導するインストラクターの皆様に通されていた「想い」の部分でした。

共に過ごさせていただいた時間の中で、参加審判員たちのために寝る間を惜しまず常に全力で楽しみながら取り組まれる姿から、日頃より審判員の育成に団結力を持って注力されているという、責任感や覚悟を垣間見ることができました。

私自身インストラクター歴はまだまだ浅いですが、愛知県の皆様からいただいた想いの火種を胸に、今後の活動で発揮できるよう努めてまいりたいと思います。

素晴らしい機会をくださった愛知県サッカー協会の皆様、茨城県サッカー協会の皆様、誠にありがとうございました。

【3級審判員 宇野 航生】



今回初めて他県への研修会に参加し、審判員としてのみならず大会を成功させるいち役員としての立場から多くのことを学ぶことができました。実技研修では審判員一人一人にインストラクターが付いてくださり、試合後の振り返りでは自分が上手に出来なかった対角線審判法の動き方やポジショニングの取り方、笛の強弱などについて詳しく教えていただきました。夜の講義では、動き方やファウル後の6つの手順についてみんなで意見を交わすことで、楽しく学ぶことが出来ました。

審判員たちとの仲も深めつつ、お互いに意見交換・共有をすることでファウルの項目やその後の手順などについても再確認することが出来ました。

学べたことを試合ですぐに実践し、インストラクターからアドバイスをいただいてまたすぐに実践できる環境下だったので、初日より2日目、2日目よりも3日目と成長できたと思います。これからの活動でも、今回の学びを積極的に発揮していこうと思います。

最後にこのような素晴らしい研修会に参加出来たのは愛知県サッカー協会、愛知FCをはじめとする各チームの方々と茨城県サッカー協会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



以上